

京大は、

2025総会と出版記念講演会

4月6日
(日曜)

琉球人の遺骨を返せ！

戦前に京都帝国大学の学者が琉球・今帰仁村の百按司墓から盗掘した遺骨の返還を求めた裁判の判決が、2023年9月22日に大阪高等裁判所ではなされました。

遺骨の所有権が原告にあるとは認められないとした不当判決でしたが、一方で、判決の「付言」で「遺骨の本来の地への返還は現在世界の潮流になりつつある」、「遺骨は単なるモノではない。遺骨はふるさとで静かに眠る権利がある」と述べ、さらに「持ち出された先住民の遺骨は、ふるさとに帰すべきである」としました。

また、判決本文で琉球民族を「先住民族」と認定したことは、国家機関による歴史的な事実認定だと言えます。

しかしながら、京都大学は未だに遺骨の返還に応じていません。

原告、弁護士、支援者は、2018年12月の提訴から5年間にわたる裁判闘争の軌跡をまとめた書籍を、この2月1日に刊行しました。

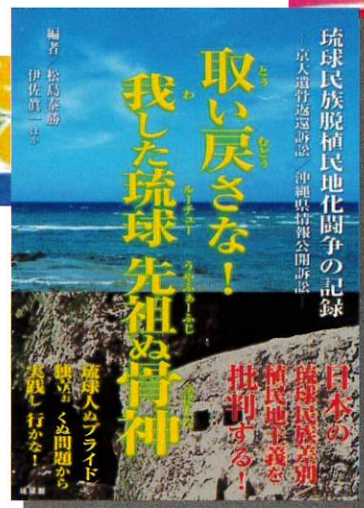
出版記念講演会では、編集委員長の松島泰勝さんから、裁判の意義とこれからの運動の展望について語っていただきます。また、琉球における脱植民地化闘争の現状について、ニライ・カナイぬ会共同代表の仲村涼子さんから報告を受け、関東在住の私たちの支援のあり方を考えます。

新宿歴史博物館 ホール (四ツ谷駅より徒歩10分)

「琉球人遺骨返還を求める会/関東」2025年総会
13:30～14:30 *会員のみ参加できます。

『**取戻さな！我した琉球先祖ぬ骨神**』出版記念講演会
14:45～16:30 *どなたでも参加いただけます。

松島 泰勝さん (編集委員長、琉球民族遺骨返還請求訴訟原告団長、龍谷大学教授)
仲村 涼子さん (ニライ・カナイぬ会共同代表)



琉球人遺骨返還を求める会/関東

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

電話 (090-3910-4140)